

## 配信資料に関する技術情報第579号

～ 高潮ガイダンス格子点値の一部格子点の取り扱い変更について ～  
(配信資料に関する仕様 No30701 関連)

### 概要

気象庁では、高潮ガイダンス格子点値について、一部格子点の取り扱い（格子点における値の有無）の変更を行います。これに伴い、標記関連仕様のフォーマット表を更新します。

### 1 実施日時

令和4年3月24日03UTC初期値の資料より変更します。

(※予備日 令和4年3月29日03UTC初期値の資料より)

なお、サンプルデータについては、(一財)気象業務支援センターを通じて提供します。

### 2 気象情報の変更内容等

広島県広島市における気象警報等の発表区域の変更に伴い、従来「値無し」としていた1格子点について、取り扱いを「値有り」に変更し、予測潮位を格納します。取り扱いを変更する格子点の位置は、下図のとおりです。



図：格子点の分布。(赤い四角が今回追加する格子点。)

### 3 気象情報の仕様

本変更に伴い、標記関連仕様の別紙2-2「GRIB2通報式による高潮ガイダンス格子点値データフォーマット」を更新します。変更点は、別添の新旧表をご参照下さい。

## GRIB2 通報式による高潮ガイダンス格子点値データフォーマット新旧表

(旧)

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
(略)						
第5節	資料表現節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6~9	全資料点の数		21151	
		10~11	資料表現テンプレート番号	符号表 5. 0	0	格子点資料 - 単純圧縮
	ここからテンプレート5.0	12~15	参照値 (R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		R	Rは可変
	↓	16~17	二進尺度因子 (E)		E	Eは可変
	↓	18~19	十進尺度因子 (D)		D	Dは可変
	↓	20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12	
	ここまでテンプレート5.0	21	原資料場の値の種類	符号表 5. 1	0	浮動小数点
(略)						

(新)

節番号	節の名称・ 該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
(略)						
第5節	資料表現節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		5	
		6~9	全資料点の数		21152	
		10~11	資料表現テンプレート番号	符号表 5. 0	0	格子点資料 - 単純圧縮
	ここからテンプレート5.0	12~15	参照値 (R) (IEEE 32ビット浮動小数点)		R	Rは可変
	↓	16~17	二進尺度因子 (E)		E	Eは可変
	↓	18~19	十進尺度因子 (D)		D	Dは可変
	↓	20	単純圧縮による各圧縮値のビット数		12	
	ここまでテンプレート5.0	21	原資料場の値の種類	符号表 5. 1	0	浮動小数点
(略)						

- ・ 変更となるのは、第5節の6~9オクテット（全資料点の数）のみです。（パラメータが、「21151」から「21152」に変更。）
- ・ これ以外の箇所の変更はありません。